

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-SDS M3 115-1.0
改訂： 2026-02-05
製造所識別コード Radiometer SDS M3 115 (EU-EN/1.0)

ページ数 1/4
初版： 2026-02-05

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品番号・製品名： 942-073 D8088+D8089 クレアチニン電極用メンブランボックス 2×2 個入

推奨用途：

血液ガス分析装置のクレアチニン電極専用の電解液

供給者に関する情報

販売元： ラジオメーター株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35

電話： 03-4331-3500

製造元： ラジオメーターメディカル社 (Radiometer Medical ApS)

Aakandevvej 21 DK-2700 Broenshoej, Denmark

ホームページ： www.radiometer.com

2 危険有害性の要約

GHS 分類：

健康有害性：

皮膚感作性： 区分 1A

呼吸感作性： 区分 1

GHS ラベル要素



注意喚起語：

危険

クレアチナーゼ

アミログルコシダーゼ

サルコシンオキシダーゼ

2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン

危険有害性情報

H317	アレルギー性皮膚反応を 起こすおそれ。
H334	吸入すると、アレルギーや喘息症状、呼吸困難を引き起こすおそれ。

注意書き：

P261	蒸気/スプレーを吸入しないこと
P280	保護手袋、目と顔の保護具を着用してください。
P304 + P340	吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸ができるように安静にする。
P342 + P311	呼吸器症状がある場合： 医師に連絡すること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合： 多量の石鹸と水で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激または発疹が生じた場合： 医師の診断/手当てを受けること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物 (水、塩、酵素、保存料)

%	CAS 番号	化学名	危険有害性 ID
10-30	37340-58-2	クレアチナーゼ	呼吸器感作性 1; H334
1-5	9029-22-5	サルコシンオキシダーゼ	呼吸器感作性 1; H334
1-5	9032-08-0	アミログルコシダーゼ	呼吸器感作性 1; H334
0,0015 - <0,025	2682-20-4	2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン	急性毒性 2 H330 急性毒性 3 H301

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-SDS M3 115-1.0

ページ数 2/4

942-073 D8088+D8089 クレアチニン電極用メンブランボックス 2×2 個入

			急性毒性 3 H311 皮膚腐食性/刺激性 1B H314 重篤な眼の損傷 1 H318 感作性、皮膚 1A H317 水生生物毒性 急性毒性 1 H400 水生環境有害性、慢性毒性 1 H410
--	--	--	---

4 応急措置

応急措置の詳細：

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、安静を保つ。呼吸器症状がある場合 医師に連絡すること。のどの炎症や咳が続く場合：医師の手当てを受け、本 SDS を持参すること。
- 皮膚へ付着した場合： 汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を水で十分に洗うこと。湿疹等の皮膚障害がある場合： 医師の診察を受け、この SDS を持参すること。
- 眼に入った場合： 直ちに大量の水で少なくとも 15 分間洗い流す。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合：医療処置を受け、本 SDS を持参する。
- 飲み込んだ場合： 直ちに口をすすぎ、コップ 1～2 杯の水を飲み、観察を続ける。気分が悪い場合：病院へ搬送する。この SDS を持参すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状/影響： 喘息、肺感作、呼吸困難。

5 火災時の措置

- 適切な消火剤： 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 特記なし。
- 火災時特有の危険有害性： 火災の場合、有毒ガスが発生することがある。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 職場で指示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 蒸気やエアロゾルの吸入、皮膚や目への接触を避ける。
- 環境に関する注意事項： 排水溝、水路または地面への放出を避ける。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材： 漏出物を適切な吸収材で吸収する。汚染された場所を水で洗浄すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- 安全な取り扱いのための注意事項： 適切な実験室/産業衛生習慣を守ること。
蒸気やスプレーの吸入、皮膚や目への接触を避ける。粉塵が発生する恐れがあるため、製品の乾燥を避けること。汚染された衣類を着替えること。
- 安全な保管条件： 容器は密栓して保管する。保管温度：2～10°C

8 ばく露防止及び保護措置

- 濃度基準値： 職業性ばく露限界値は指定されていない。
- 設備対策： 適切な換気を提供する。スプレーミスト/エアゾールの生成を避ける。

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-SDS M3 115-1.0

ページ数 3/4

942-073 D8088+D8089 クレアチニン電極用メンブランボックス 2×2 個入

保護具

呼吸用保護具：	専門業者と相談して、CEN 基準などに準拠した個人用 保護用具を選択すること。換気が不十分な場合は、P2 タイプの粒子フィルター付きマスクを使用すること。
手の保護具：	ゴム手袋を着用する。ニトリル製ゴム手袋を推奨する。厚さ ≥ 0.11 mm
眼の保護具：	ゴーグル又はフェイスシールドを着用する。
衛生対策：	取り扱い後、手を洗う。汚染された衣類は再使用する前に洗濯すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体	pH：	知見なし
色：	知見なし	動粘性率：	知見なし
臭い：	知見なし	溶解性：	水に完全に溶解
融点/凝固点：	知見なし	n-オクタノール/水分係数 (log 値)：	知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	知見なし	蒸気圧：	知見なし
可燃性：	知見なし	密度及び/又は相対密度：	知見なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	知見なし	相対ガス密度：	知見なし
引火点：	知見なし	粒子特性：	知見なし
自然発火点：	知見なし	分解温度：	知見なし

10 安定性及び反応性

反応性：	知見なし
化学的安定性：	規定の保管条件下で安定。
危険有害な反応の可能性：	知見なし。
避けるべき条件	特記なし。
混触危険物質：	知見なし。
危険有害な分解生成物：	特になし。

11 有害性情報

急性毒性 (経口) (経皮)	分類基準に該当しない
皮膚腐蝕/刺激性	分類基準に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類基準に該当しない
呼吸感作性または皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。 吸入した場合: アレルギーや喘息の症状、呼吸困難を引き起こす可能性がある
生殖細胞変異原性	分類基準に該当しない
発がん性	分類基準に該当しない
生殖毒性	分類基準に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類基準に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類基準に該当しない
誤嚥有害性	分類基準に該当しない
吸入	エアロゾルを吸入すると、敏感な人は感作および吸入性過敏症 (職業性喘息) を引き起こす可能性がある。

追加情報

皮膚への接触：	皮膚に繰り返しまたは長時間接触すると、敏感な人はアレルギー反応を起こすことがある。長時間・繰り返しの接触により、炎症を起こすことがある。
目への接触：	水しぶきがかかると炎症を起こすことがある。

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-SDS M3 115-1.0

ページ数 4/4

942-073 D8088+D8089 クレアチニン電極用メンブランボックス 2×2 個入

摂取： 刺激性があり、吐き気、胃痛、嘔吐を起こすことがある。

12 環境影響情報

生態毒性 この製品には、水生生物に非常に有毒な物質が少量含まれている。
2-メチル-2H-イソチルジアゾル-3-オン
M-ファクター (急性): 10, M-ファクター (長期的): 1

残留性・分解性 製品の分解性は明記されていない。

生物蓄積性 生物蓄積性に関するデータはない。

土壌中における移動性 データなし。

オゾン層への有害性 データなし。

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法: 廃棄物および残留物は、地方自治体の要求に従って処分する。
廃棄物は有害廃棄物に分類される。

14 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA、ADR/AND/RID)の対象外です。

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>	
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度) :	該当しない
労働安全衛生法 :	該当しない
毒物及び劇物取締法 :	該当しない

<国内規格>

JIS Z 7253:2019 : GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

16 その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

NITE-CHRIP (NITE 化学物質総合情報提供システム) (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

免責事項

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本データシートは、本製品が所定の条件下にて、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている通常の取り扱いを対象としたものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合は、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。